

“疑問の多い水俣病”

ルドルフ博士が来熊



さる一日 来日いら
い東京、
大阪、京
都、岡山
、広島でそ

れぞれ學術講演の旅をつづけてい
るチエコ科学アカデミー研究所分
析部長のルドルフ・プロビル博士
「写真が、十四日下り特急「はや
ぶさ」で熊本を訪れた。

同博士は九大教授上野豊並氏の案
内で一まず熊本市桜井町司本商店
テルに到着き、午後四時から同仁
堂化学研究所工場、水前寺、熊本
城などを一めぐりしたが「熊本は
街並みがきれいだし、モダンな建

築もあって、日本の都市では立派
な街です。十月といえはチエコは
もう晩秋で寒いのですが日本の秋
は気候もよし、まったくすばらし
い」と甘い採点。
科学文化の交流や水俣病などにつ
いてきくと、

いま両国政府の間で交渉が進ん
でいるようだし、ちかいつ将来、
学者や研究生の交流という形で
科学の交流がさかんになること
を期待している。水俣病につい
ては全く知らないが、有機水銀
など金属物による中毒症状が事
実なら、EDTAICA（エチ
レン・ダイアミン・テトラ・ア
セチック酸カルシウム）を投与

して鉛やマンガン中毒に効果を
挙げた事例もあり有望だろう。
しかし水銀の場合ほもっとも
除去が困難だし、魚の体内に
どうして水銀が入るのかも疑問
なので、はっきりした返答はで
きない」と答えた。

同博士はキレート滴定およびキレ
ト化学、とくにEDTAを用い

る分析化学についての世界的な権
威で、中国訪問の途中、日本分析
化学界などの招きで来日したも
の。

十五日阿蘇登山、十七日九大で
講演したあと二十一日離日の予
定だが「政治問題には一切ノー
コメントです」と慎重だっ
た。